「求人者支援員」（表面）

応募者氏名

【次の質問に、お答えください。】

【回答欄が不足する場合は、枠欄を適宜拡大して構いませんが、できる限りA４両面にまとめてください。】

１　（保持資格等一覧）（知識・実務経験等一覧）の中から、該当するものがあれば、該当番号をすべて記入してください。

また、当該資格や知識・経験等を生かした業務経験の詳細を教えてください。

|  |  |
| --- | --- |
| （該当番号） | （業務経験の詳細） |

２　あなたが今回の求人職種に採用された場合、取り組んでみたい支援内容を具体的に記入してください。

|  |
| --- |
|  |

（保持資格等一覧）

①　キャリアコンサルティング技能士（１級又は２級）、キャリアコンサルタント国家資格、産業カウンセラーのいずれか。

（知識・実務経験等一覧）

② 企業（事業所）との関係や企業（事業所）に関する知識・経験を活かした求人開拓ができる。

③ 企業（事業所）の人事労務管理に関する知識・実務経験を有する。

④ 職業相談・職業紹介に関する知識・実務経験がある。

⑤　労働局管内の商工・労働分野に関する見識がある。

【裏面は、記入できる方のみ（記入できる箇所のみ）記入をお願いします。】

「求人者支援員」（裏面）

３　勤務している（いた）部署、期間、職種、主に支援している（いた）対象者又は事業主を記入してください。（複数ある場合は、一番長く勤務していた時のものを記入してください。）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| （例：〇〇安定所）（例：〇〇株式会社） | （例：令和〇年〇月～現在） | （例：求人者支援員）（例：キャリアカウンセラー） | （例：求人事業主）（例：シニア世代） |

４－１　上記３の期間中、担当する業務を進めていく中で、具体的な（個人又は組織の）目標がありましたか。また、当該目標を達成するために、自ら能動的（積極的）に取り組んだ内容について記入してください。

（目標がなかった場合は、目標なしと記入した上で自ら能動的（積極的）に取り組んだ内容について記入してください。）

|  |
| --- |
|  |

４－２　（続き）

自ら能動的（積極的）に取り組んだことで、どんな結果・成果がありましたか。また、どんな課題点があると考えましたか。課題点に対して改善すべき部分や取り組むべき部分等も含めて、具体的に記入してください。

|  |
| --- |
|  |

５　上記４の内容を踏まえ、あなたが採用された場合、「新たに挑戦してみたいこと」「特に力を入れて取り組んでみたいこと」「業務改善をして取り組んでみたいこと」等があれば、具体的に教えてください。（表面２の回答以外で）

|  |
| --- |
|  |